

2025年度3Q標準案

網管理專門委員會

網管理専門委員会

通信ネットワーク運用管理
SWG

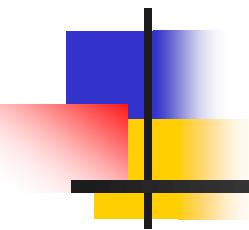
JT-M3385 (新規標準)

通信サービス品質評価
SWG

標準化対象

【新規:1件, 改定:0件, 廃止:0件】

TTC標準	対応する国際勧告
JT-M3385 (新規第1版)	ITU-T M.3385 Intelligence levels evaluation framework of artificial intelligence enhanced telecom operation and management



TTC標準案 (Draft TTC Standard)

網管理専門委員会
通信ネットワーク運用管理SWG

Agenda(通信ネットワーク運用管理SWG)

新規標準案概要

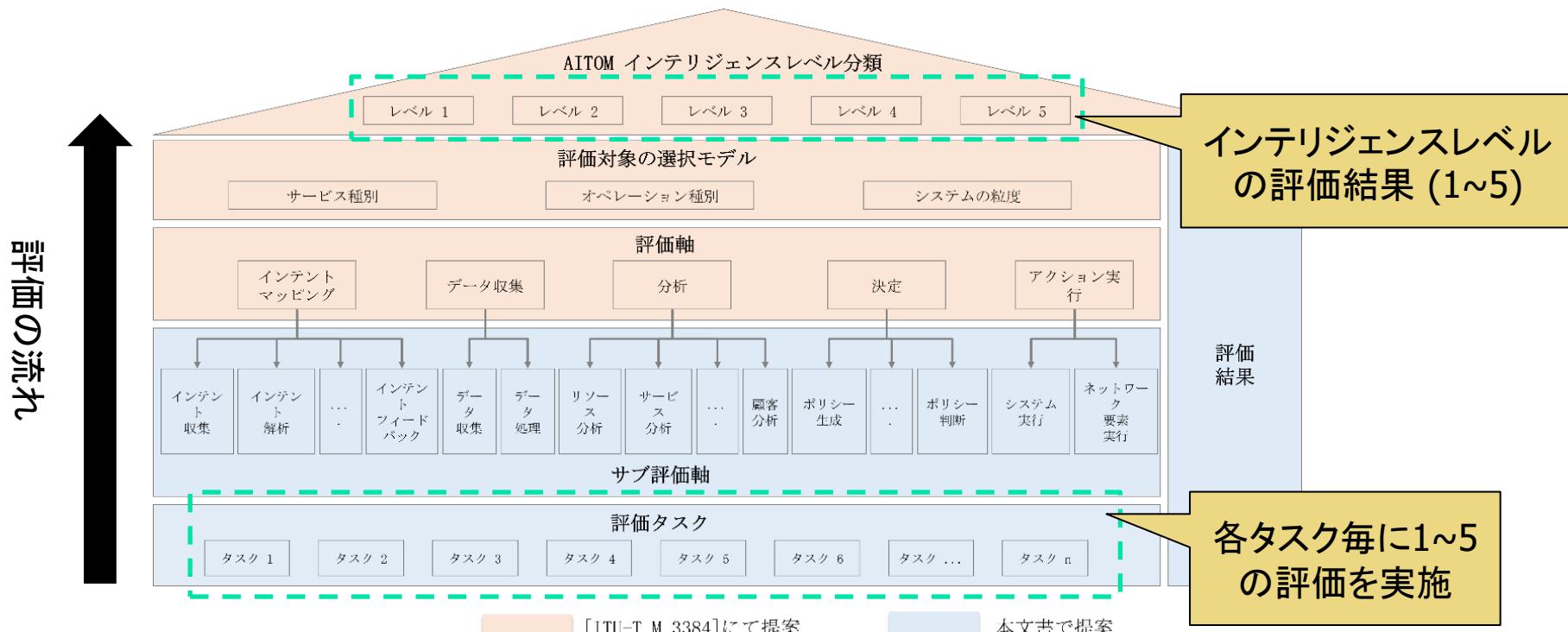
- ・JT-M3385
AI拡張テレコム運用管理インテリジェンスレベル
評価フレームワーク

1.JT-M3385の概要(1/2)

- 国際移動通信-2020 (IMT-2020) 以降、ネットワークの運用と保守 (O&M) の複雑さが増しており、柔軟性に関する要件がますます高くなっていることを考慮すると、ネットワークインテリジェンスは、より効率的で、費用対効果の高い、柔軟なネットワークO&Mとサービス管理を達成するために重要な課題となっている。しかし、AI拡張テレコム運用管理 (AITOM) のレベルに関する評価フレームワーク、評価方法は明確になっていない。
- 本標準は、AITOM [ITU-T M.3080]におけるインテリジェンスレベル [ITU-T M.3384]の詳細な評価フレームワーク、評価方法を規定する。
- さらに、本評価方法においては、多くのパラメータがあり、評価の効率を向上させるために、各パラメータの自動評価プロセスに関する規定する。

1.JT-M3385の概要(2/2)

- IL-AITOMの評価フレームワークは、インテリジェンスレベルの分類、評価対象の選択モデル、評価軸、サブ評価軸、評価タスク、評価結果の6つのパートで構成される。
- 各評価タスクは、1から5のスコアで評価され、評価軸、サブ評価軸、評価タスクの重み付けに基づいて総合評価結果が算出される。
- 自動評価プロセスは、評価要件入力、評価セッション作成、評価セッション管理、評価結果管理、評価レポート生成の順序立った活動で構成される。



JT-M3385の目次

1. スコープ
2. 参照資料
3. 定義
4. 略語
5. 規約
6. はじめに
7. IL-AITOMの評価フレームワーク
 - 7.1 概要
 - 7.2 評価対象
 - 7.3 評価軸
 - 7.4 サブ評価軸
 - 7.5 評価タスク
8. IL-AITOMの評価方法
 - 8.1 評価タスクの評価基準
 - 8.2 評価対象の評価方法
9. IL-AITOMにおける自動評価プロセス

付録 I IMT-2020以降のネットワーク運用管理システムの品質保証能力に関するインテリジェンスレベル評価ユースケース
参考文献